

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 渡邊 正直

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	11,116	8.6	123	△55.4	128	△51.9	17	△81.2
26年5月期第1四半期	10,238	0.7	278	△55.6	267	△58.6	92	△71.5

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 13百万円 (△85.5%) 26年5月期第1四半期 90百万円 (△71.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	2.25	2.25
26年5月期第1四半期	11.96	11.94

1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成25年12月1日付で当社株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し、当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年5月期第1四半期	31,437		12,027		38.2	
26年5月期	30,282		12,127		40.0	

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 12,006百万円 26年5月期 12,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,694	7.2	△232	—	△196	—	△338	—	△44.05
通期	45,931	5.1	548	—	505	—	3	—	0.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年5月期1Q	7,693,600 株	26年5月期	7,693,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年5月期1Q	— 株	26年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年5月期1Q	7,693,600 株	26年5月期1Q	7,693,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)発行済株式数については、平成25年12月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※金額単位の変更について

・当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、前第2四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度につきましても百万円単位に紐替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年6月1日～平成26年8月31日)におけるわが国経済は、輸出を中心に企業業績は改善基調であるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、個人消費の落ち込みが一部で見られ、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けることにより、「モノを買う」というニーズを満たすだけでなく、「モノとモノの融合、モノとコトの融合」によって「新しい発見」や「買い物の楽しさ」をお客様に提供することを目指しております。

この方針のもと、当社につきましては、お客様に新しい発見や驚き、楽しさを提供できる空間づくりを目標に、業態別店舗タイプ別の営業施策を推進し、売り場完成度を高めることによるオペレーションの品質向上、またPOSを使用した商品施策の見直しを進め、売上回復とともに、今期より商品在庫の適正化を重点的に進めてまいります。

よりお客様のニーズに沿った品揃えや売場作りに取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間における当社の既存店売上高前年同四半期比は102.0%と、前年同四半期を上回る結果となりました。

店舗展開につきましては、インショップへの出店を中心に推進し、当第1四半期連結累計期間における当社グループでは、直営店8店舗を出店し、直営店12店舗、FC店1店舗を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店525店、FC店13店の合計538店となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては11,116百万円と前年同四半期と比べ878百万円(8.6%)の増収となりました。利益面につきましては売上高増収の影響により売上総利益は増益したものの、人件費等の販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益123百万円と前年同四半期と比べ154百万円(△55.4%)の減益となりました。また、四半期純利益は、17百万円と前年同四半期と比べ74百万円(△81.2%)の減益となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、今までになかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)等の商材を融合させ、独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、キッズを中心にファミリー層をターゲットにした「QK」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、食べるコトの楽しさを提案する「HOME COMING」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」、若い女性をターゲットとした「exciting girls store」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、8,969百万円と前年同四半期と比べ365百万円(4.3%)の増収となりました。営業利益67百万円と前年同四半期と比べ105百万円(△61.1%)の減益となりました。

なお、店舗数につきましては、直営店4店舗の新規出店、直営店11店舗、FC店1店舗の閉鎖を行い、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店383店舗、FC店12店舗の合計395店舗となりました。

②株式会社チチカカ

株式会社チチカカは、主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE(ハッピートレード)」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,901百万円と前年同四半期と比べ374百万円(24.5%)の増収となりました。営業利益は45百万円と前年同四半期と比べ38百万円(△45.9%)の減益となりました。

なお、店舗数につきましては、直営店4店舗の新規出店、直営店1店舗の閉鎖を行い、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店129店舗、FC店1店舗の合計130店舗となりました。

③TITICACA HONGKONG LIMITED

TITICACA HONGKONG LIMITEDは、香港において主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。株式会社チチカカ同様、エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE(ハッピートレード)」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は124百万円と前年同四半期と比べ40百万円(47.4%)の増収となりました。営業利益は16百万円と前年同四半期と比べ3百万円(△17.2%)の減益となりました。

なお、店舗数につきまして増減はなく、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は直営店5店舗となっております。

④その他

その他は、株式会社Village Vanguard Webbedにてオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売、Village Vanguard (Hong Kong) Limited及びVillage Vanguard (Taiwan) Limitedにて香港及び台湾での書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。

また、比利■カ(上海)商■有限公司では、当社グループの生産管理拠点とするほか、上海で直営店を1店舗運営しており、主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は250百万円と前年同四半期と比べ164百万円(192.7%)の増収となりました。営業損失は13百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)となりました。

Village Vanguard (Hong Kong) Limited及びVillage Vanguard (Taiwan) Limitedは賃貸借契約条件や今後の店舗損益を考慮して順次、事業を撤退することを決定しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、24,393百万円となりました。これは、商品が207百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、7,044百万円となりました。これは、建物及び構築物が101百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、31,437百万円となりました。

(ロ)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、9,906百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が286百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.9%増加し、9,503百万円となりました。これは、長期借入金が1,088百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、19,410百万円となりました。

(ハ)純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、12,027百万円となりました。これは、利益剰余金が86百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、当連結会計年度末には1,689百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(イ)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は542百万円となりました。

これは、主に売上債権の増加額562百万円、たな卸資産の増加額205百万円があったためであります。

(ロ)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は615百万円となりました。

これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が455百万円、差入保証金の差入による支出が110百万円あったためであります。

(ハ)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は1,230百万円となりました。

これは、主に長期借入れによる収入が2,130百万円があったものの、長期借入金の返済による支出が754百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果をなす場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が3百万円減少し、利益剰余金が3百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646	1,709
受取手形及び売掛金	2,492	3,043
商品	18,659	18,867
繰延税金資産	56	54
その他	602	723
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	23,453	24,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,624	2,725
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	1,096	1,086
建設仮勘定	14	13
有形固定資産合計	3,735	3,825
無形固定資産		
ソフトウェア	240	234
その他	2	3
無形固定資産合計	242	238
投資その他の資産		
長期前払費用	273	307
繰延税金資産	38	38
差入保証金	2,536	2,623
その他	1	10
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,850	2,980
固定資産合計	6,828	7,044
資産合計	30,282	31,437

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,877	4,110
短期借入金	900	900
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	2,792	3,079
未払金	956	583
未払法人税等	94	77
未払消費税等	63	148
株主優待引当金	98	75
賞与引当金	116	81
資産除去債務	35	31
その他	782	797
流動負債合計	9,738	9,906
固定負債		
社債	10	—
長期借入金	6,646	7,735
長期末払金	347	325
役員退職慰労引当金	249	248
退職給付に係る負債	242	245
資産除去債務	855	885
その他	64	64
固定負債合計	8,415	9,503
負債合計	18,154	19,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242	2,242
資本剰余金	2,219	2,219
利益剰余金	7,662	7,575
株主資本合計	12,124	12,037
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12	10
退職給付に係る調整累計額	△39	△41
その他の包括利益累計額合計	△27	△31
新株予約権	30	20
純資産合計	12,127	12,027
負債純資産合計	30,282	31,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	10,238	11,116
売上原価	5,890	6,386
売上総利益	4,348	4,730
販売費及び一般管理費	4,069	4,606
営業利益	278	123
営業外収益		
仕入割引	17	5
業務受託料	17	17
為替差益	—	3
その他	12	8
営業外収益合計	47	35
営業外費用		
支払利息	23	29
為替差損	20	—
その他	13	1
営業外費用合計	57	30
経常利益	267	128
特別利益		
移転補償金	9	—
新株予約権戻入益	4	9
特別利益合計	14	9
特別損失		
固定資産除却損	—	10
減損損失	27	35
その他	—	5
特別損失合計	27	51
税金等調整前四半期純利益	254	86
法人税等	162	69
少数株主損益調整前四半期純利益	92	17
四半期純利益	92	17

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92	17
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1	△2
退職給付に係る調整額	—	△1
その他の包括利益合計	△1	△4
四半期包括利益	90	13
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90	13
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254	86
減価償却費	176	187
減損損失	27	35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	4
売上債権の増減額(△は増加)	△1,138	△562
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,173	△205
仕入債務の増減額(△は減少)	199	230
その他	△17	△206
小計	△1,671	△429
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△22	△29
法人税等の支払額	△822	△84
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,517	△542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△262	△455
無形固定資産の取得による支出	△13	△4
差入保証金の差入による支出	△67	△110
差入保証金の回収による収入	—	15
その他	12	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330	△615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,031	—
長期借入れによる収入	1,600	2,130
長期借入金の返済による支出	△558	△754
社債の償還による支出	△10	△10
長期末払金の増減額(△は減少)	△56	△27
配当金の支払額	△107	△107
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,898	1,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△947	70
現金及び現金同等物の期首残高	2,975	1,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,028	1,689

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月23日 定時株主総会	普通株式	107	1,400	平成25年5月31日	平成25年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年8月22日 定時株主総会	普通株式	107	14	平成26年5月31日	平成26年8月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	株式会社ヴィレッジヴァンガード コーポレーション	株式会社チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注)3			
売上高							
外部顧客への売上高	8,562	1,508	84	82	10,238	—	10,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	17	—	3	61	△61	—
計	8,603	1,526	84	85	10,300	△61	10,238
セグメント利益又は損失 (△)	173	83	19	△12	263	14	278

(注)1. セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利■卡(上海)商■有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	株式会社ヴィレッジヴァンガード コーポレーション	株式会社チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注)3			
売上高							
外部顧客への売上高	8,969	1,860	124	161	11,116	—	11,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	40	—	88	128	△128	—
計	8,969	1,901	124	250	11,245	△128	11,116
セグメント利益又は損失 (△)	67	45	16	△13	115	8	123

(注)1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利■卡(上海)商■有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「TITICACA HONGKONG LIMITED」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。